

シリア紛争

なぜ5年も続く

シリアの紛争はこの3月、6年目に入りました。なぜ5年も続いていたか、考えてみました。
(カイロ小玉純)

三つどもえの構図に

紛争の始まりは、2011年3月に始まった政治的自由を求めるデモをアサド政権が武力で弾圧したことです。反政府派も早くから武装し、同年6月には激しい戦闘が発生。国連も事態を「内戦」と表現するようになり

ました。その間に、イラクの過激組織アルカイダ系組織から生まれた過激組織ISがシリアへ支配地を拡大。14年6月に、イラク、シリア両国にまたがって建国を宣言しました。これにより、シリアの紛争は、初期の「政権」対「反対派」にそれぞれを支援する外国勢力という構図から、ISが加わった三つどもえの構図へと移りました。

シリアの友好国イランは、資金と武器を援助しています。中東の大国イランとサウジの対立も影響しています。シリアの友好国イランは、資金と武器を援助しています。中東の大国イランとサウジの対立も影響しています。



兵士・戦闘員の死者は、政権の正規軍が5・5万人、政権側の非正規軍4万人。反政府闘争5年にあたり紛争死者数の推計を発表しています。およその数字で見ると、総数27万人。うち民間人8万人です。

イラン、サウジの対立

イランは、資金と武器を援助しています。中東の大国イランとサウジの対立も影響しています。シリアの友好国イランは、資金と武器を援助しています。

兵士・戦闘員の死者は、政権の正規軍が5・5万人、政権側の非正規軍4万人。反政府闘争5年にあたり紛争死者数の推計を発表しています。およその数字で見ると、総数27万人。うち民間人8万人です。

兵士・戦闘員の死者は、政権の正規軍が5・5万人、政権側の非正規軍4万人。反政府闘争5年にあたり紛争死者数の推計を発表しています。およその数字で見ると、総数27万人。うち民間人8万人です。

米国とロシアの介入

アサド政権をめぐって、米ロ二つの大国が対立しました。米国は、反政府デモを武力弾圧するアサド政権に対し、退陣を迫りました。反対派武装

勢力には、武器を提供念。03年のイラク侵略戦争とその後の占領の破たんが世論を変えてきました。ただISには空爆を始めました。イラクでは14年8月

から、シリアでは続く9月からです。ロシアは、アサド政権が支配地域を失い、劣勢に陥っていた15年9月に、ISや反体制派への大規模な空爆を開始。これで政権軍は善き返りに成功しました。ロシアはシリアに1

和平協議が始まる

国連などは、シリア内戦に軍事解決はなく政治解決が必要との認識から、12年、14年に政権と反対派の協議を試みました。アサド大統領の退陣を求める反体制派と、反政府武装勢力はテロリストだとする政権側。双方の間に歩み寄りはありませんでした。

にこぎつけました。一連の仲介で和平協議が始まっています。国際社会が一致して

いる、シリア人主導でシリア人が主体となる政権移行民族・宗派にかかわらずシリア人の権利を守るマシリアの統一、独立、領土保全などの諸原則に基づいて、武力紛争を終結



シリア中部のパルミラで警戒に当たる政府軍兵士＝国営シリア・アラブ通信が3月27日配信（AFP時事）



ホムスの破壊された建物が立ち並ぶ通りを歩く男性＝2012年11月19日（ロイター）



ラタキア地方のシリア・トルコ国境の町で定められ、トルコへの越境の許可を持つシリアの国内避難民＝2月7日（ロイター）

深刻な人道状況 ユニセフが発表

シリアで5歳未満の子は戦争のある人生しか知りません。こういう子が3人に1人です。国連児童基金(ユニセフ)が3月発表しました。

国連諸機関の発表では、25万人以上が亡くなり、500万人近い人がシリアを脱出しました。国内でも650万人が避難生活です。5年前の人口2300万人の半分が自宅を追われたことになり、人口の約7割が適当

な飲料水がなく、3人に1人が基本的な食糧を満たせず、200万人の子どもの学校に行きません。オックスファムなどの人道支援団体が紛争5年にあたり報告書を発表。戦闘の恐ろしい結果は、戦闘当事者に直接の責任があり、暴力を5年間止められなかったのは、米ロ英仏、サウジアラビア、トルコ、イランなどの国の責任だと批判しました。